

日時

令和4年12月4日(日)

13:30 ~ 16:10 (開場 13:00 ~)

参加申込締切

11月30日(水)

会場

愛媛大学南加記念ホール

参加
無料

会場定員

100人 先着順

開催方法：会場及びオンライン(Zoom)による併用開催 (要事前申込)

主催：愛媛大学社会連携推進機構俳句・書文化研究センター

後援：松山市、伊方町

プログラム

【開会挨拶】佐藤 栄作 (愛媛大学俳句・書文化研究センター長)

【基調講演】坪内 稔典

(伊方町出身、京都教育大学名誉教授、市立伊丹ミュージアム名誉館長)

『鐘つけば一漱石と松山』

【報告1】佐藤 栄作

(愛媛大学俳句・書文化研究センター長、松山坊っちゃん会(漱石研究会)顧問)

『弟子から見た漱石の俳句 一耒井、百聞一』

【報告2】川島 佳弘 (松山市立子規記念博物館学芸員)

『「子規へ送りたる句稿」からみる子規と漱石の交流』

【報告3】青木 亮人 (愛媛大学教育学部/俳句・書文化研究センター 准教授)

『俳人漱石と蕪村調』

【ディスカッション】

パネリスト/坪内 稔典、川島 佳弘、佐藤 栄作、青木 亮人

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンライン開催のみとなる場合がございますので予めご了承ください。



旧制松山中学校〈神奈川近代文学館 所蔵〉

「俳人漱石と松山」

愛媛大学俳句・書文化研究センターシンポジウム



夏目漱石

〈神奈川近代文学館 所蔵〉

〈松山市立子規記念博物館 所蔵〉

参加申込み方法は裏面

開催趣旨

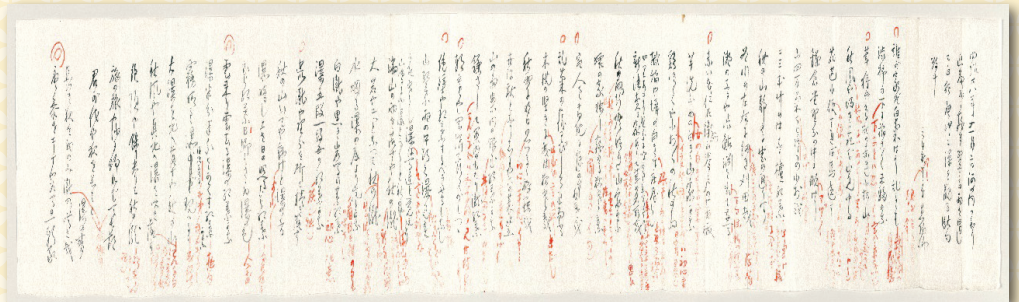
文豪夏目漱石は松山ゆかりの小説家と言われており、松山が名作『坊っちゃん』の舞台とされるのは、旧制松山中学校で教鞭を執ったことによるものでしょう。

松山での1年間、英語教師漱石が熱心に行っていたのは俳句の創作です。「愚陀佛庵」での正岡子規との52日間、それに続く二人の交流には常に俳句がありました。

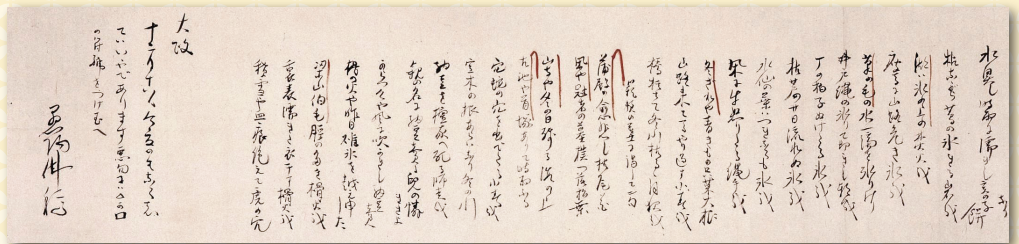
今回のシンポジウムでは、小説家になる前の漱石＝俳人漱石にスポットをあて、子規とのやりとり、漱石の作風や作品の評価などについて、理解を深め合いたいと思います。



正岡子規
〈松山市立子規記念博物館 所蔵〉



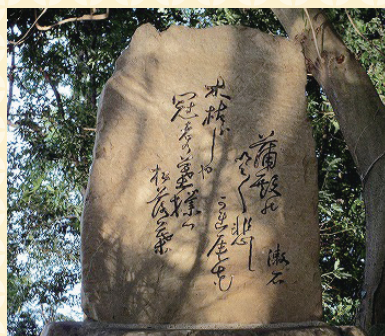
正岡子規へ送りたる句稿 四 〈神奈川近代文学館 所蔵〉



正岡子規へ送りたる句稿 九 〈松山市立子規記念博物館 所蔵〉



「鐘つけば銀杏ちるなり建長寺」
〈神奈川県鎌倉市 建長寺〉



伊予市鎌倉神社 漱石句碑



愚陀佛庵
〈松山市立子規記念博物館 所蔵〉

参加については以下のフォームからお申込みください。

参加申込みフォーム：URL <https://forms.office.com/r/byAY0bbLuB>



■お問い合わせ 愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室

メール：chiki@stu.ehime-u.ac.jp TEL：089-927-8512 ※月～金（祝日を除く）9：00～17：00

- *申込みの際にいただいた個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡のみ使用させていただきます。
- *学内には駐車スペースはございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。
- *オンラインの場合は、パソコン、スマートフォン、タブレットでの参加が可能です。*Wi-Fi環境を推奨